

平成 29 年 8 月 1 日発行

第 56 号

茨城県県央農林事務所

笠間地域農業改良普及センター

TEL (0296) 72-0701・FAX (0296) 72-2718

笠間農業改良普及事業推進協議会

笠間市・城里町

J A 常陸・J A 水戸

普及だより



城里町都市農村交流で 農業体験を開催しました

普及センターでは、中山間地の活性化を図るため、城里町における都市農村交流活動を支援しています。今年度は、城里町の特産品である「古内茶」と「ななかいの里コシヒカリ」の取組を地元消費者に理解してもらおうと、農業体験を企画しました。

五月一七日、古内茶の「高安園」で、同町内の保育園児を対象としたお茶摘み体験と製茶工場見学を実施しました。お茶摘み体験後には摘んだ新芽を天ぷらにして試食しました。

五月二八日には、ななかいの里生産研究部会が、水戸ホーリーホックのサッカースクールに通う親子を対象に、田植え体験を実施しました。さらに、川に入って生き物調査をしたり、かまどで炊いたご飯を食べたりと城里町の自然を満喫しました。今回の企画は、食の楽しさと城里町の魅力を消費者に伝える良い機会になりました。

今後は、町内外の消費者のみならず、町と親交のある東京都区内の消費者を対象として、都市農村交流活動を拡大していく予定です。

**新規就農者のための
農業講座を開講しました**

五月二四日に新規就農者のための農業講座を開講したところ、一三名が出席しました。開講式のあと、多品目の野菜を有機栽培で生産している二十代の新規参入者と、イチジクと露地野菜を生産している五十代の新規参入者のほ場で現地研修を行ない、それぞれに就農の動機、経営上の工夫、今後の抱負などを語ってもらいました。研修では、「病害虫の対策はどうしているか」「イチジクの栽培法をどうやって学んだのか」という質問が出され、活発に意見交換が行われました。

今年度は十回ほど農業講座の開催を予定しています。



**「栗新規栽培者講座」の
参加者を募集します**

「笠間の栗産地」の振興を図るため、これから栗栽培に挑戦する方や、栗の栽培技術の基本を学びたい方を対象に講座を開催します。※家庭果樹は対象外
定員…二〇名程度
申込期限…八月二五日（金）
申込方法…電話で普及センターにお申し込みください
以前に本講座を受講した方も部分受講が可能です。過去に全講座受講できなかった方など、ぜひご参加ください。

開催時期	内 容
9月10日	開講式、栗栽培の基礎、選果場見学及び栗の流通
12月上旬	剪定の基礎・実習
12月下旬	剪定の実際（栗部会の剪定講習会見学）
平成30年2月	病害虫防除について、閉講式

小ギク新規栽培者相談会

小ギク生産・出荷に興味のある方、まずは相談会へ

日時：平成29年8月18日（金）
午前9時～午後4時
場所：JA常陸友部営農センター2階会議室
笠間市湯崎1231-1
*事前にご連絡いただくとスムーズです。
JA常陸友部営農センター（前澤・岩淵）
TEL：0296-77-8164
FAX：0296-77-8656

小ギク栽培を始めませんか

JA常陸笠間地区花き部会では、新規の小ギク生産者を募集しています。小ギクは、ほとんどが露地栽培のため、新規導入しやすい品目と言えます。
「畑で収益性の高い品目を栽培したい」、「小ギク栽培に興味はあるけど、難しそう」など、少しでも興味のある方は、個別相談会で話を聞いてみませんか。普及センターでも受け付けます。

笠間市の動き

**かさまアグリビジネス
ネットワーク協議会の活動**

平成二五年七月に発足した当協議会は、「育てるから販売するまで」の作業に携わる生産農家、加工業者、飲食業者などの販売業者が連携し、情報交換や新たな商品開発、販売促進活動などを行っています。当協議会では、魅力ある農業を推進していくため、安心・安全にこだわった笠間の野菜や、それを使用した加工品を広める活動として、毎月第三日曜日に地域交流センターともべで「朝市カサマルシェ」を開催しています。旬な野菜の販売、笠間産の農畜産物や加工品の販売を行っています。生産者の顔と思いが見える「朝市」に足を運んでみてください。



県内で農機具盗難が多発。機械は倉庫へ、鍵は別にして保管しましょう

<農薬ラベルの例>



<殺虫剤の作用機構分類一例>

従来の分類	作用機構分類			有効成分	
	系統名	FRACコード	作用機構		耐性リスク
アミド系殺菌剤		4	核酸合成	高	メタラキシル等
		7	呼吸	中~高	メプロニル, ボスカリド等
		17	細胞膜のステロール生合成	低~中	フェンヘキサミド, フェンピラザミン

登録農薬の使用
 農薬を購入するときは、ラベルに農林水産省登録番号が記載されているかを必ず確認してください。

防除履歴の記帳
 いつ、どここの畑で、何の作物に、何の薬剤を、どれだけ（量・濃度）、どのように（散布方法）防除したか、正確に記録しておきます。

農薬を適正に使用しましょう！

作用機構分類コードについて
 農薬は従来、有効成分の化学構造や作用の特徴で分類されてきました。近年、作用機構（有効成分が病害虫のどこに働きかけるか）による分類も行われており、薬剤抵抗性に配慮したローテーション散布を行うときの判断材料になります。

殺菌剤はFRACコード、殺虫剤はIRACコードと称され、数字やアルファベットで表されます。詳細は、農業工業会のホームページ等でご確認ください。

今後生育調査をしながら収量向上を図っていきます。



笠間市内のトマト農家において、環境測定器を導入し、収量向上を図る取り組みが行われています。本技術を導入することにより、施設内の温度や湿度以外に、日射量・積算日射量や二酸化炭素濃度なども測定することができ、本技術で得られたデータを元に、炭酸ガスやミストなどを施用することで、植物の光合成量を多くすることができ、収量向上が期待されます。

環境測定器を導入し、収量向上に取り組んでいます



就農に当たっては、技術だけでなく、農地・資金等の確保が必要です。地域おこし協力隊の就農に向けて、町内農家・関係機関と協力的な支援を行っていきます。

城里町では、将来、町内で就農を目指す二〇代〜四〇代の男女四名を地域おこし協力隊として採用しました。四名は、経営作物を決めるため、町内の主要な農家で研修を行っています。経営作物が絞られれば、その作物を中心に就農する予定です。

城里町の動き
 新規就農を目指す
 地域おこし協力隊4名を採用

新任・退任 農業三士のご紹介

七月四日、平成二九年度茨城県農業三士の認定・退任式が茨城県福祉会館で開催されました。当管内からは農業経営士として村上隼人氏（笠間市）、青年農業士として大峰渉氏（笠間市）と高萩和彦氏（城里町）が知事から認定されました。

また、平成二八年度をもって、農業経営士の埴悟氏（笠間市）と青年農業士の村上隼人氏（笠間市）が退任されました。長い間の御活躍、ありがとうございました。



新青年農業士
高萩 和彦 氏

経営類型
施設野菜（アスパラ等）



新農業経営士
村上 隼人 氏

経営類型
施設野菜（トマト等）

いばらき農業アカデミー

茨城県では民間企業、大学、教育機関、研究機関等のノウハウを結集し、農業経営や生産技術等三つの講座群で約二〇の講座を実施しています。詳しい内容等については、普及センターに問い合わせるか、アカデミーのホームページをご覧ください。

県立農業大学校学生募集

県立農業大学校では、平成三〇年度の学生を募集しています。高校等卒業者（若しくは見込者）を対象に農業部（農学科 四〇名・畜産学科 一〇名）、園芸部（園芸学科 三〇名）の学生を募集しています。



新青年農業士
大峰 渉 氏

経営類型
花き（枝物）

また、農業大学校卒業生、短期大学等の卒業生（若しくは見込者）を対象として、研究科（作物・園芸・畜産の専攻コース）一〇名を募集しています。

詳しくは、県立農大までお問い合わせください。

お問い合わせ先

茨城県立農業大学校
茨城町長岡 4070-186
TEL 029-292-0010

試験区分	願書受付期間	試験日
推薦入試 (各学科)	H29.10.2 ~ 10.20	H29.11.1
一般入試 (各学科)	前期	H29.11.13 ~ 12.8
	後期	H30.2.5 ~ 2.23
研究科 一般入試	H29.11.13 ~ 12.8	H29.12.14

新規就農者いませんか

皆様の周りに、新しく農業を始めた方いませんか？普及センター・笠間市・城里町・各農協では新規就農者向けの就農窓口をしています。窓口では、就農・研修に対するアドバイスや、各種支援事業（制度資金や人材投資資金等）に関する情報提供等を行います。

お気軽に、相談窓口へぜひお越し下さい。私たちは、これらの農業を支える担い手を求めています。

相談窓口

- 笠間地域農業改良普及センター
TEL 0296-721-0701
- 笠間市農政課
TEL 0296-771-1101
- 笠間市農業委員会
TEL 0299-371-6611
- (一財)笠間市農業公社
TEL 0296-731-6439
- 城里町農業政策課
TEL 0291-281-3111
- 城里町農業委員会
TEL 0291-281-3111
- JA常陸笠間宮農経済センター
TEL 0296-741-4700
- JA水戸常北センター
TEL 0291-281-3111
- JA水戸かつらセンター
TEL 0291-281-2722